

## 第5回有田内山グランドデザイン検討委員会議事録

### 本日の議題

日	時	令和3年10月25日(月) 14時00分 ~16時40分
場	所	庁舎別館3階 西公民館
参加者		今泉今右衛門 深川祐次 百田憲由 大坪康敏 篠原祐美子 (敬称略) 上野菜穂子 清水耕一郎 松岡恭子 馬場正尊 浜野貴晴 宮原真美子(オンライン) 松尾佳昭 木寺寿 鷺尾佳英 多賀和広 山口睦
資料		1・2・3

### 内 容

	内山地区の魅力づくり(案)	(浜野) <u>資料1</u>
清水	皆様のご意見をお願いします。	
松岡	資料1にある「失敗談に学ぶ、有田での暮らし」とは何でしょうか。を教えてください。	
浜野	ここで暮らすとこうなりますという成功例は多いけど、挫折して去っていく人は、なんで挫折したのか、失敗談をシェアして対策することで有田での暮らしをより現実的に考える事ができるのではないかな。	
松岡	大賛成です。アーティスト・イン・レジデンスの他の地区の失敗談も分かっていたらいいかなと思います。その地区との意見交換会などできたらいいと思います。オンラインなどで勉強会ができるかもしれません。	
浜野	有田はすでにアーティスト・イン・レジデンスを行っている。海外から受け入れて3ヶ月間滞在するプログラムを5年活動してきて、失敗談も幾つかあります。窯業技術センターでアーティスト・イン・レジデンスを受け入れているが、これが内山地区の中にあったらそこで住みながら、作品を作る事ができる。そこに一般の人も加わり観光として生きてくるのではないかな。	
清水	失敗談があるのですね。	
浜野	日本人はおもてなし精神が強くて、クリエイターは満足して帰るけど、受け入れた方が疲れ果てる。もう少しほっといてもいいのではないかなと思います。	
清水	観光もそうですね。何処に行きたいのか最初から聞けばよかったなど。	
浜野	検討部会では、教育を町の魅力作りに出来ないかとの議論が出た。	

- 
- 有田小学校の少人数制教育など、教育面での施策も入れてほしい。
- 清水 児童数も少ない所でしっかりと教育をしようと言う事ですね
- 深川 計画当時、美術系の何かに特化した小学校が出来たらいいねと言う話もあった。そうすれば、全国の志を持った児童が集まってくるかもしれない。何か特徴を持たせる小学校になればいいのでは。
- 松岡 近代建築の発祥地のシカゴでは、建築ツアーを主催している NPO の 40 名スタッフ内に教育関係者が多くいて、その中の人教科書を作った。
- それは、社会・算数・理科など、全ての教科で建築を通して教えている。バインダー形式で、建物を通して影の長さの計算とか、建築現場でどんな人が働いているのかなどです。
- 有田では窯業を通して教える事が出来たらいいのでは。
- 町長 教育は大事だと思っています。有田は特徴的な町なので、例えば芸術系大学の付属小学校とか、色々な課題がありますが、前向きに考えて行ければと思います。
- 清水 特徴を活かして世間に知ってもらおう事ですね。
- 松岡 不動産屋になって建売住宅の特徴を PR してみようというのもあった。
- 清水 バインダー形式は捨てないで取っておける、つまりアイデアが積み上がっていくのでいいですね。
- 松岡 先生はバインダーを 2 冊持っていて、教材と教え方がある。
- 浜野 有田小学校で何か窯業とか特色を活かした取り組みをしていると、そこに通わせたいなと言う人もいるのではないのでしょうか。
- 箸置きプロジェクトで日本の和食文化とマナーを伝えていく活動をしました。有田小学校の誕生給食で箸置きを使っている。また、箸置きを使った授業も開催した。そのような活動が積み重なると特徴のある小学校になるのではないか。
- 馬場 小学校のプログラムでやりたくても余裕がない。小中高の部活動で民間が芸術指導する事が出来ないのでしょうか。例えば、顧問の先生ではなく外部のマイスターが教えてくれるなど。全国の賞を総なめするような指導をするとか。
- 今泉 有田小学校の給食の食器は焼き物です。有田にはベースがあるのでそれにプラスしながらできるのではないのでしょうか。

- 
- 清水 有田町の生涯教育の中で高齢者で絵を描きたい人が多い。  
それぞれ皆さん上手で、それは有田町の風土かなと思います。  
教育の中で自然に取り入れて行ければいいと思っています。
- 浜野 私の使いたい焼き物の絵コンクールを小学生対象にしますが、有田町の小学生の95%が応募した。凄い事です。箸置きプロジェクトも快く受けてくれましたが、そこでやっている事を発信していない。
- 深川 校長先生が有田の方ではないからですかね。
- 町長 有田の子ども達は本当に絵が上手です。有田は本物の教育が受けれる場所だと思っています。しかし外に向けて情報を発信していなかった。今、有田町はクリエイターの町として育てたいと企画しています。芸術・文化・美術に特化した町づくりを小中学校から話をしたいと思っています。
- 清水 まずは、先生たちに有田を好きになってもらう。  
その様なプログラムが欲しい。  
自分たちももう一回見直してみる事も必要だと思います。
- 松岡 私も短期で有田に滞在したいと思います。これは、だれがどこから来るのが大事だと思います。色々な分野の専門家をゲストに迎えてのワークショップとかもいいのではないのでしょうか。

施策展開の取組み（案）検討資料 について （役場） 資料2

- 清水 ご意見をお願いします。
- 宮原 大学院の演習で具体的に内山地区に住めるのか、住めないのか、整理をしています。内山地区約1220軒、表通りは268軒なので、2割は表通りで8割は裏通りにある住宅だと思います。裏通りを住みやすいように整理して、新築可能かなど道路の整理をしています。移住促進窓口では、物件ごとに具体的に振り分けて宅建業とかかわることがあるとよりうまくいくのではないのでしょうか。裏通りを見ると景観形成地域の許可基準がゆるい気がする。伝建30周年を期に基準を見直しした方が良い気がします。
- 清水 空き家が空き地化していて多くは再築できるのですよね。
- 宮原 8割から9割は再築できます。セットバックで敷地の一部分は建てられません。道路から見た景観もですが、町全体で景観を考えていかな

ければならないと思います。稗古場・中の原周辺に子育て移住者を住める環境を整えるとか、表通りは伝統的建造物の価値を共有してくださる方を誘導するとか、表と裏を活かしていければいいと思います。

清水 裏通りの景観形成についてはもう少し議論をしていきたい。

宮原 裏通りの物件は動きがあるが、道路の接道条件が悪くなくて安価で売られている。定住に繋がらない売買が多い印象を受けた。

空き家を誰にどう住んでもらうのか、イメージをセットで情報提供できる施策があったらいいのではないのでしょうか。

清水 誰に住んでもらいたいのか、情報を誰に渡せるのかの振り分けが必要ではないか。

馬場 有田町空き物件で検索して見て、民間の空き物件情報サイトが最初に出る。情報の出し方がもったいないと思いました。

空き家物件の魅力を歴史やオーナーの思い、このように使ってほしいなど、事細かに伝えていくとそこに住みたいという人が出てくるのではないのでしょうか。大事な事は、オーナーさんと行政がしっかりと話をし、民間では出来ない魅力的な空き物件情報版を作ってみてはいかがでしょうか。

松岡 有田 R 不動産の土壌ですか。

馬場 有田は歴史もあるし地元の人がやらないと難しい。行政と地元が一緒になると話題になると思います。

松岡 オーナーに訴えかける資料が欲しい。

上野 空き物件を相談される方には不動産屋さんと一緒に細かくお話を聞いている。若い人は最初空き家を探していたが新築に代わっていく傾向がある。空き家を魅力的に使ってくれるクリエイティブな人を有田に来てもらうという取り組みをしています。色々な業種の方が来てくれたらいいと思います。空き家ツアーもインスタで発信していますが、沢山の人に伝えるのは難しいです。

清水 情報の伝え方が十分ではないのですね。

いろんなところとコラボして、協力を要請しなければいけないですね。

宮原 移住事業の窓口は必ずそこを通すように一本化して充実できたらいいと思います。

清水 地域の為になる情報をみんなで考える事も大事でしょう。

- 馬場 空き家を民間の中間組織と契約して貸し出すサポートシステムがあったら、オーナーさんも安心できるのではないのでしょうか。
- 宮原 行政側が借り上げてマスターリースされている例がある。
- 松岡 このグランドデザインができる前に地域の方の話を聞いて、地域の為に頑張ろうという人が増えるようにする知恵が必要だと思いました。
- 浜野 規制緩和の面では、検討部会で普通の人が普通に暮らせる町がいいのではとの意見が出ました。例で言うとクリエイティブな人 100 人くらい集まった地区がありますが、クリエイティブじゃない人をいかに呼び込むかが大事だと言っている。
- 松岡 景観ガイドラインを色とか形成などで取り扱うと何処も同じ様な雰囲気になって限界があるのではないか。ではなくて、有田らしいか、有田らしくないかで議論してもいいのではないのか。
- 清水 住んでいる人のみんなの町にしなければならない。  
最初、景観審議会が出来るときガイドラインは、議論をして決めた経緯がある。30 周年を期に見直しが必要でしょう。  
それを、伝える様な場を作らないといけないでしょう。

「札ノ辻周辺」に必要な機能と活用	(役場)	<u>資料 3</u>
駐車場・空き家・空き店舗分布図	(清水)	資料
徒歩圏による内山地区ゾーニング	(清水)	資料

- 深川 住む・仕事・教育・趣味（ライフワーク）など総合的にアピールしなければならない。焼き物が趣味な人の為に共同の工房が町の中にあったら便利な気がする。
- 清水 楽しく暮らす為にどの様なものが必要か、それをアピールする。  
この中心部にどんな機能が必要かですね。
- 松岡 資料の中のいきなり「駐車できる」は違和感がありました。  
駐車場問題は地元ですか？
- 清水 地元の方は駐車場を既にもっていますよね。来訪者ですね。  
来訪者はこの真ん中のゾーンまでは入ってくるでしょうから「駐車できる」となるわけです。
- 大坪 我々の幼いころにあって無くなった物が、人が集まってきた要因ではないのでしょうか。利便性に欠けているのではないかと思う。

有田で仕事がない、雇用がないので次の世代が育たない。

グランドデザインの話は、来てほしい人達の話で進んでいる。住んでいる人が住みやすく満足してはじめてグランドデザインは成り立つのではないか。表通りの景観条例もこのまま続けていいのだろうかとかは、住んでいる人の意見を聞くべきではないか。アイデアは必要ですが、それを住んでいる人達が受け入れやすい形にして頂きたい。

この中心部は、住民にとって必要な物を検討したい。

「コンビニないですか？」よく聞かれる。飲み物も買えない観光地で観光を語ってもがっかりして帰る。住んでいる人・有田に来る人・みんなの視点でグランドデザインは考えるべきだと思います。

篠原 住んでいる人がどれだけ幸福感を持てるか着目した方がいいのでは。小さい子供を遊ばせる所がなく、目の届く範囲の遊び場があれば便利だと思う。今、有田中学校では2割弱不登校になっている。定住を促してもがっかりするのではないのでしょうか。そこは、学校の方と連携を取って改善してほしいです。子供たちの環境など土壌を先に安定させて欲しいです。

町長 子育ての環境・教育の環境は整備していかなければと思います。教育委員会と話しながら改善したいと思います。

清水 中心部の話になりますが、高齢化して大勢が車を運転できなくなる。市場などができ、それが移動販売になると助かる。そこで地元と観光客が交流できる事があればいいと思う。

今泉 地元で落とし込むプロセスが大事で、早急に決める問題ではないのではないのでしょうか。地元の方が関心を持って話し合いをして議論をするべきではないか。

馬場 社会実験をする方法もあります。とにかくやってみる。映画館やヨガなど何かをやってみてそれをサポートして影響を観察する。実験をして、参加者を増やして、興味を持ってくれる人を増やして、コンペで決めていく方法もあるのではないのでしょうか。社会実験期間を設けてあらゆる事を試してみるのもいいのでは。町の真ん中に自分たちの為の空間作りを考える時間をとりたい。

松岡 実験の時代だと思う。実験をいかにできるかが、地域力として試されている気がします。外から来て実験するわけにはいかない。実験の先に起

業する可能性も出てくる。この間、交通を遮断してはどうかと言う話  
がでたので実験してみて地元の人の意見がでるのではないですか。

DIY の材料調達は何処に行ってますか。

深川 車で行ける場所しかないです。

松岡 知り合いのグッデイさんは必要な物の地域データーを持っていて、有  
田でのデーターがあるとビジネスとして出来る可能性があるのでは。

深川 今、秋の有田陶磁器祭りの商工会議所跡地でマルシェを開催していま  
す。この間、アリタセラでもパンのマルシェをして反響が大きかった。  
考える暇があったら行動する。そして、様子を見るのが一番いいのかな  
と思っています。

馬場 2年間くらい実験期間をもらって、コンサートやトークショーなど開  
催したらいいのでは。

上野 実験する場所が必要ではないか。有田の物づくりの方は研究者タイプ  
だと思います。チャレンジする場所の提供を考えている。

松岡 次回は委員の顔写真とコメントを取って委員会資料を作って発信した  
らどうですか。

上野 どうしたらこの街に住み続けていけるか。自分自身を実験している。  
普通の人が、普通に暮らせるが課題となっている。  
茶碗最中も作って売っていく実験をしている。

清水 茶碗最中を買いに来る人の何割くらいが上野さんの話しを聞きにこら  
れますか。

上野 どうでしょう、茶碗最中の昔の話とかしますね。  
町のみなさんが応援して下さるのが凄く伝わります。

町長 早急に答えを求める時代ではないと思います。  
茶碗最中など、いろんな新しいものを作って行く風土が出来て、実験期  
間を設けて行くのもいいのかなと思っています。

---

木寺 地元に住んでいる人の生活が成り立たないと、観光と外部からの受け  
入れは難しい課題になると思います。

一番に心地よい暮らしの実現をビジョンとしてあげています。

有田内山はいままで気づいていない魅力を見つけて、育てていって、新  
たな段階に行く。グランドデザインを最終的にどのようにまとめるか

---

と議論をしています。実験の言葉をかりますと、いろんな方の連携を想定して取り組んで行きたいと思います。

実験と言う取り組みは大変参考になります。グランドデザインの最終的なまとめでは工夫をして反映出来ればと思いました。

木寺 次回の会議は12月20日に開催したいと思います。

---

確認印
